

滋賀県 多賀町商工会青年部

# 「バーチャル(仮想)商店街」 「eモールたが」開設

多賀町商工会青年部は、商工業活性化のためFacebook（フェイスブック）を活用して、インターネット上の仮想商店街「eモールたが」をオープンした。

町内には小規模事業者が多く、多額の費用を要する自前での広告宣伝に積極的になりづらい背景がある。そこで、バーチャル商店街への参加を呼びかけ、情報を集約発信することで、町内外の顧客から各事業者への窓口、そして町内事業者を互いに結び



付けるハブ的役割を果たし、少ない投資で効果を見込める広告宣伝ツールとして各事業者の販路拡大、顧客獲得などの手助けにしようと考えたもの。

少子高齢化や過疎化の急速な進行中、移動困難な高齢者などをターゲットとして今注目のデリバリーなどのビジネス展開、また、近年進みつつある宅地開発とそれに伴い新たに流入しつつあるインターネットに精通する若い世代の住民と地元業者を結び付ける効果も期待している。同青年部は、商工会、観光協会、農業、林業、地域の商店など幅広い連携の

もと、次代の担い手である青年部として新たなビジネスチャンスの可能性を提案し主導するするとともに、互いの相乗効果により、地域振興の礎を構築していきたいとしている。

兵庫県 市川町商工会

# 世界初、 玉鋼を使ったアイアンクラブ 日本刀ウエッジを製作

市川町商工会は、日本におけるゴルフクラブ発祥の地「兵庫いちかわ」の技術PRを目的に、同町のゴルフクラブメーカー三浦技研と佐用町の刀工とのコラボレーションでアイアンクラブを製作した。

熱した鉄をたたいて成型する鍛造の技をテーマに、刀工・高見國一氏が厳選した日本刀の材料、玉鋼を鍛錬し、三浦技研が



ウエッジと呼ばれるアイアンクラブのヘッドにつくり上げた。完成したアイアンヘッドの表面には、日本刀の下地に見られる木目の模様が浮かび上がる、美しい仕上がりがとなっている。

2月15〜17日に東京で開催された「JAPAN GOLF FAIR 2013」で町内8社のアイアンヘッドとともに出品、ゴルフと日本刀の技術の融合をアピール、大評判となった。

今後実用化に向けて研究を重ねるとともに、同商工会では地元での一般公開を検討している。



## 西いなば「うわー」と驚く しょうからうどん出来ました

鳥取市西商工会青年部は、気高、鹿野、青谷の鳥取市西部地域を元気にしようとして、特産のシヨウガを練り込んだ「しょうからうどん」を開発した。西いなばで400年という栽培の歴史を誇るシヨウガを粉末にして生地練り込んだうどんで、各地のイベントで試験販売したところ評判は上々。学校給食のメニュー化につなげようと地元気高中学校に青年部員が直接出向き、出来たてをふるまって話題となった。地元飲食店での提供も始まった。



商品開発にあたっては、企画から試作品開発、試験販売、広告宣伝とすべてにわたって青年部員と青年部OBが担当したほか、商工会、鳥取県東部東商工会産業支援センターの助言や、資金面で鳥取県の食のみやこ支援交付金を活用したことが大きな原動力となっている。

今後は、パッケージ化、商標登録、バーガーフェスタなどへの参加も視野に入れている。

## 地域の歴史・文化・産業・観光を学ぶ 岡山北コンシエルジュツアー開催

岡山北商工会女性部は、地区内の歴史、文化、産業、観光について幅広く習得すると同時に、地域を訪れる人たちの案内役として、合併前の5商工会地区ごとに「岡山北コンシエルジュツアー」を毎年持ち回りで開催している。コンシエルジュとは頼りになる人という意味があり、まず女性部員が自らの地域をより理解し、情報発信することにより、地域の活性化や移住・交流人口をふやすことを目的に平成21年度から始めたもの。



今年度は11月に御津地区で開催、当日は23名の女性部員と事務局が参加して、岡山県動物愛護センターでの研修会をはじめ、河原邸や観光農園、運転免許試験場、牧場などの視察を行い、御津地区内にある名所旧跡、産業・観光スポットについて見聞を深めた。

開催地区の女性部員は事前調査を行い、地区内のスポットを決定し、見学スケジュールの立案や資料準備し、当日は案内役を務めるため大変だが、それぞれの地区で工夫が凝らされ、参加者は楽しく勉強出来ているという。また、少しずつだが、飛び地も含めた商工会合併地区内の情報を共有出来るようになったという。ツアーは残すところ1地区となり、次回開催地区ではすでに開催時期や場所の選定など準備を進めている。